



福岡市柔道協会

【設立年月日】

1947（昭22）年

【加盟年月日】

1962（昭37）年

【歴代会長】

1947（昭22）年	竹村 茂孝
1948（昭23）年	久永 貞男
1963（昭38）年	荒井 一三
1973（昭48）年	岩崎 重成
1979（昭54）年	石橋 弥一郎
1990（平 2）年	井上 光
1991（平 3）年	平田 才蔵
1992（平 4）年	藤田 弘明
1999（平11）年	中島 博康
2005（平17）年	二宮 和弘
2017（平29）年	武田 隆



【沿革】及び【現在の活動】

福岡市柔道協会は、竹村茂孝初代会長はじめ先達の尽力により1947（昭22）年に全国に先んじて設立されて以来、70余年にわたり柔道王国九州の礎を担ってきました。この間、幾多の名選手、オリンピック金メダリストを輩出しており、現在も柔道を志す子どもたちが歴史を繋ぐべく日々奮闘しています。

特筆すべきは、福岡市で2つの大規模な歴史ある全国大会が開催されていることです。その大会運営は、主に福岡市柔道協会の関係者が担っています。

一つ目は、1916（大5）年に始まった金

鷲旗高校柔道大会。春の選抜大会、高校総体と並ぶ高校3冠大会のひとつで、コロナ禍で2020、2021年は中止となりましたが、その歴史は100余年を数え、毎年全国から400校を超える高校が参加し体重無差別の抜き勝負で日本一を競っています。近年は海外からの参加校も増え、国際色豊かな大会となっています。

二つ目は、1966（昭41）年から開催されている全日本選抜体重別選手権大会。男女体重別各7階級のトップ8が参加し、世界選手権やオリンピック出場をかけた最終選考を兼ねた国内最高峰の大会となっています。例年会場には地元の学校や町道場で柔道を志す子どもたちが多数訪れ、先輩を応援している姿が見られます。こうしたトップレベルの大会に直接触れることのできる良い環境が福岡の強い柔道の歴史を綿々と紡いでいくものと考えます。

また、福岡では町道場から実業団チームまで多くの団体が柔道選手強化に携わっていることも大きな特徴と言えます。全国的に活躍する団体があり、地元の子もたちを中心に一貫した長期的な選手強化を行うとともに、柔道を通じた人材育成に携わっています。



福岡市柔道協会では、今後も関係者一丸となって世界を目指す選手の育成はもちろん、柔道を通じた青少年育成、生涯柔道の環境形成に尽力し、柔道界の発展、スポーツ振興に貢献したいと思っております。